

平成21年11月30日

国土交通省 岩手河川国道事務所
林野庁 岩手南部森林管理署

記者発表資料

市野々原地区土砂災害対策工事に関する合同現地案内を行います。
また、磐井川の流れを新河道へ転流します。

昨年6月14日の岩手・宮城内陸地震で発生した市野々原地区土砂災害対策工事の進捗状況について、下記のとおり国土交通省と林野庁の「合同現地案内」を実施します。

また、当日は、現在の磐井川の流れを新河道（暫定断面）へ「転流」します。

1. 実施月日：平成21年12月 3日（木）
2. 取材時間：13：15～15：30
※当日のスケジュールは別紙-1をご覧ください。
3. 工事現場内を移動しての取材となりますので、ヘルメット・長靴等の持参をお願いします。

発表記者会： 岩手県政記者クラブ、一関市政クラブ

問い合わせ先

○国土交通省 東北地方整備局 岩手河川国道事務所

建設監督官 桜田勉（住所：盛岡市上田四丁目2-2 電話：019-624-3198）

一関出張所長 高橋忠良（住所：一関市狐禅寺石ノ瀬155-8 電話：0191-23-2435）

○林野庁 東北森林管理局 岩手南部森林管理署

治山課長 本城谷貴広（住所：奥州市水沢区東上野町12-17 電話：0197-24-2131）

<12月 3日のスケジュール>

- 13:15 一関市巖美町市野々原地先 集合 (別紙-2)
- 13:15~13:30 国交省河道付替工事の進捗説明 (仮設橋梁付近)
- 13:30~14:00 新河道への転流作業
- 14:00~14:15 移動 (徒歩)
- 14:15~14:30 林野庁治山工事の進捗説明 (治山工事現場)
- 14:30~15:30 移動 (徒歩)
- 15:30 解散

※駐車スペース・集合場所は「別紙-2」の写真をご参照下さい。

※天候によりスケジュールが変更となる場合がありますのでご了承下さい。

本復旧着手前(平成20年8月撮影)



平成21年8月撮影

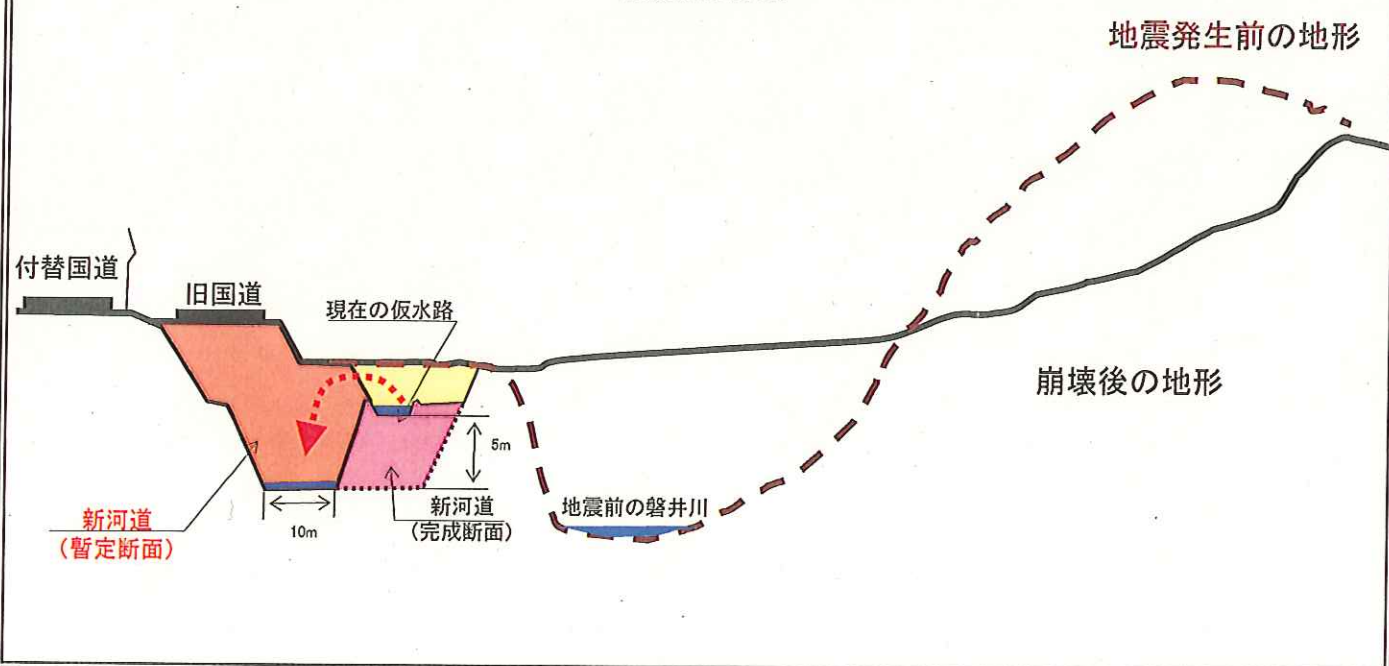


現在の状況(平成21年11月17日撮影)



横断図

(仮設橋梁付近)



<国土交通省 市野々原地区河道閉塞対策の経緯>

平成20年 6月14日：地震発生（市野々原地区河道閉塞発生）

平成20年 6月17日：岩手県知事要請により、国直轄事業として緊急対策工事着手

平成20年 6月21日：暫々定断面（下幅6m、上幅12m）の水路完成・通水

平成20年 7月 5日：暫定断面（下幅12m、上幅20m）の水路完成・通水

※10年に1回の洪水を安全に流下させる断面が完成

平成21年 1月30日：新しい河道の整備に着手

平成21年 6月11日：移転家屋1戸の解体着手（6月25日解体完了）

平成21年 6月15日：国道付替工事に本格着手

平成21年 6月29日：移転家屋1戸の解体着手（7月22日解体完了）

平成21年 8月 1日：仮設橋梁設置

平成21年 8月10日：付替国道L=310m全面供用

平成21年 9月11日：人工水路へ転流（1次転流）

平成21年12月 3日：新河道（暫定断面）へ転流（2次転流）

※暫定断面：下幅10m×上幅20m×長さ410m

<今後の予定>

平成21年度内 : 新河道（完成断面）完成（予定）

※完成断面：下幅20m×上幅40m×長さ410m

※100年に1回の洪水を安全に流下させる断面が完成

※アイオン・カスリン台風規模の洪水でも安全に流下可能

<参考データ>

○市野々原地区にできた天然ダムの概要

崩壊土砂：幅 約L=200m、長さ 約L=700m

天然ダム：延長 約L=1.6km、湛水量 約V=110万m³

※天然ダムの湖面は、地震発生（堰き止め）からおよそ1週間で形成されました。

市野々原地すべり防止工事 林野庁 岩手南部森林管理署

